岩盤ボーリング柱状図

調査名	主要地方道西城比和線外測量設計地質調査業務委託（道路改良・単独）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	No.8	調査位置	広島県庄原市比和町三河内	北緯	34° 58' 10.3639"
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所	調査期間	平成31年 4月22日～平成31年 4月24日	東経	133° 02' 16.9620"
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	630.62m	角度	180°(上) 90° 0°(下) 0°	方向	北 0° 90°東 180°南 270°西
総削孔長	15.00m	地盤勾配	20° 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D1-B48型 / エンジン：ヤンマーディゼルNFD-12 / ポンプ：東邦地下工機BG-3C

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率(%) / 最大コア長(cm) / RQD[%]	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔状況 削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
0	630.42	0.20		表土	黒								有機質な表土(黒ボク)。																		
1					茶褐				Ⅶ			C[0](100)	粘土状～礫状を呈すひん岩。																		
2												C[0](100)	GL-0.20～4.00mは、粘土状～砂状を呈し、岩組織をほとんど残さない。																		
3												C[0](100)	GL-4.00～10.00mは、砂状～礫状部分が多くなる。																		
4												C[0](100)	所々に、凝灰岩が礫状に混入する。																		
5				風化ひん岩	～	w5		E		d	DL	C[0](100)																			
6												C[0](100)																			
7									Ⅵ			C[0](100)	GL-7.50～8.00、9.50～10.00mは粘土化が著しい。																		
8							h1					C[0](100)																			
9					褐灰							C[0](100)	GL-9.50～9.85m間、礫質土状を呈す。礫間は粘性土で充填されており、ややもまれた印象がある。																		
10	620.62	10.00										5[0](100)																			
11					茶褐					d		C[0](100)	GL-10.00～13.95mは角礫状～岩片状を呈すひん岩。																		
12				ひん岩	～	w4		D	Ⅴ	～	DH	10[10](100)	GL-11.90～12.00、12.35m付近は粘土状を呈す。																		
13					暗灰					c		C[0](100)	30～70° 程度の割れ目が発達する。																		
14						w3～w2		C	Ⅳ	c～b	CL	5[0](100)	GL-13.95～15.00mは、岩片状～短柱状を呈し、硬質となる。																		
15	615.62	15.00																													
16																															
17																															
18																															
19																															
20																															